

## 第4回下鎌田地域小学校統合に向けた 合同会議 議事録 (要旨)

【日 時】 令和3年3月9日(火) 19時～20時15分

【場 所】 下鎌田小学校 体育館

### 【主な内容】

#### (1) 統合に係る諸課題について

- ・校名、通学区域について優先して検討を進めていく。学用品・校章・校歌は次回以降優先順位をつけながら、一定の方針を固めていく。

#### (2) 校名の検討について

- ・校名の検討について電話での聞き取りを行った結果、大きく分けて「下鎌田小とする案」、「新校名にする案」、「その他」の3つの意見があった。
- ・本日の会で改めて意見交換を行いたい。

#### (3) 35人学級の導入について

- ・35人学級を考慮したうえで、下鎌田小と下鎌田西小の児童数・学級数の推計を計算したところ、令和5年～令和8年の学級数は28学級の見込みとなった。今後の対応として、予定していた教室数の見直しと転用可能教室の活用を考えている。

#### (4) 通学区域について

- ・通学区域(案)を提示。(西瑞江3-6～10、15～17 江戸川3-1～8、13～20を瑞江小通学区域に変更)
- ・この通学区域で合意が得られれば、次は通学路について検討を進めることとなる。

### 【意見交換内容】

- ・学校というのは開校以来の歴史が大事。特に小学校は地域と密接な関係がある。下鎌田小は地域からの土地の提供などで学校ができた。両校とも歴史を重ねているが、統合になったら、歴史が古いほうの名を使うのが自然ではないか。
- ・歴史的にも「下鎌田」という名を残したい気持ちもあるが、そうすると吸収合併と受け止められてしまうのではないか。歴史的には下鎌田小も瑞江小から分かれている。下鎌田西小の子どもたちのことも考えて、痛み分けという形で「下鎌田」という名を残したうえで公募がいいのではないか。
- ・子どもの心を一番大事にしたい。例えば下鎌田小の子どもたちは校歌が歌えるのに下鎌田西小の子どもたちは校歌が歌えない、また、校章も変わってしまうと下鎌田西小の子どもたちはどのように思うだろうか。きっと吸収されてしまうのだなという気持ちになってしまう。私は子どもたちにそんな思いをさせたくないで、新しい校名にしたほうがいいのではないかと思う。
- ・今いる子どもたちだけではなく卒業生のことも考えないといけない。下鎌田小がなくなれば自分が卒業した学校がなくなる。下鎌田西小の場合は歴史の中で下鎌田小から分離してできた経緯から「下鎌田西」という名の学校はなくなるが、下鎌田小に統合すれば、歴史的には学校はなくなる。また、下鎌田西小

の歴史については(改築校の)校舎内に展示すればいいのではないか。

- ・両校の歴史を残すということであれば、校名は下鎌田小学校でなくても残すことはできる。
- ・周年行事は節目で開校時からの歴史を子どもたちの活力に変える行事であり、大事にした方がいい。
- ・両校の歴史は必ず残さないといけないと思う。
- ・電話では下鎌田小学校の校名を残してほしいと言ったが、最終的には区がイニシアチブをとり判断してほしい。吸収合併や痛み分けを言い出したら相容れない水掛け論になってしまう。  
また、地域性も考えなければいけない。土地提供者をはじめとした地域の協力によって開校した学校であるという意識が強い方が大勢いる。子どもの心と同様に地域の心も大事にしてほしい。
- ・前提として、統合の計画は進めていくしかない。下鎌田地域で一つの学校を作り上げていく必要がある。下鎌田は歴史のある土地で、新しい学校でゼロ周年から始めるよりも校名は既存の学校名がいいと思う。個人的な意見ではあるが、「下鎌田小学校」でまとまったほうが皆さん協力して統合を進められるのではないか。統合まで時間がない中で大人たちがわだかまりを残すのはよくないので、今日で意見を言い合って、最後は教育委員会にお任せして、私たちは一つの学校を作るべきだと思う。また、通学も心配で、下鎌田小、下鎌田西小、春江小、第二葛西小の通学の様子を見に行った。下鎌田は一列で黙って歩く。下鎌田西2列で下鎌田の子の1.5倍の速度で歩く。春江小は人数が多いが地域の協力もあって警察と協力して大勢で交差点を渡る。信号も35秒と少し長い。こういった細かい部分も詰めていかないといけない。
- ・この場では最終的にまとまらない。教育委員会に一任して決めてもらう方が公平性があっていいと思う。
- ・私が子どもの立場だったら、統合や改築でドキドキしていると思う。校名を子どもたちに決めてもらうような気持ちが盛り上がるのがないと乗り越えられない。「下鎌田」という名を残すのは賛成で、「下鎌田」の後にみんなで決めた名前があるだけでみんなウキウキするのではないかと思う。
- ・「下鎌田小」という名を残し、ひとつにまとまって、大人たちが頑張っている姿を子どもたちが見て新しい環境に順応するというのもよいと思う一方で、子どもにとっては名前より環境の方が大事だと思うので、子どもたち自身が未来の学校を決められることを考えると新校名もありかと思う。
- ・校名は教育委員会に一任してしまっていると思う。今後校歌について考えるとき下鎌田小の校歌に一節だけでもいいので下鎌田西小の歌詞を入れて欲しい。
- ・江戸川区歌も4番を付け加えたことがあるように下鎌田の校歌の4番に子どもたちが考えた歌を付け加えてもいいと思う。
- ・私は教育委員会に一任については反対である。この下鎌田の地域性を理解しきれていないと思う。確かに教育委員会に一任すれば効率的に進められると思うが、もう少し情報を収集して、最終的な結論を検討してもらいたい。

- ・今回このような場を設けさせていただいたのは、地域性や歴史、経緯、などさまざまな立場で意見があると考えたからである。できる限り情報収集を行い、意見をまとめていきたい。区に一任ということであれば、総合的に検討し、次回お示ししたい。また、その前段で情報が不十分ということであれば、それを補ったうえで次の段階に進むというやり方もある。

校名を先行して決めていく理由は、校歌や校章を決めていくのに関連性が非常に高いからである。今後、先生、保護者、PTA、町会にご対応をお願いすることが多々ある中で、そういった所に注力することも考えると最初の校名の検討は大事になる。皆様が区としての案を示してほしいということならば100%納得は難しいかもしれないがお示ししたい。〔事務局〕

- ・清新ふたば小ではどのように決まったのか。

→このような場を数回設け、最終的に新しい校名を公募することになった。〔事務局〕

- ・通学区域について事務局より説明したが、何かご意見などがあればお伺いしたい。〔事務局〕

- ・頂いた通学区域案で指摘する点は見当たらない。

- ・改築によって統合校に学校選択を行う児童が増えないだろうか。

→学校選択制において通学区域内の児童で学校がいっぱいとなる場合は、通学区域外からの児童は受け入れ不可とする。その場合、特別な事情がある場合を除き、通学域外からの入学は出来なくなる。〔事務局〕

- ・通学区域の変更がある場所の子どもたちの中学校の通学区域はどこになるのか。

→まず、小学校と中学校の通学区域を同時に変えることは考えていない。同時に変更してしまうと今の在校生が違う中学校に入学することになるケースが出てしまう。令和5年4月に小学校の通学区域を変更後、その6年後となる令和11年4月に中学校の通学区域を変えると、子どもたちに一番影響が少なく済むと考えている。〔事務局〕

- ・瑞江小には登校班がないことが心配であり、対策はあるのか。

→例えば、上級生と一緒に登校して通学路を覚えるような対策は考えていく。〔事務局〕

- ・これまでのご意見をふまえ、通学区域については今回お示しした案で進めさせていただく。〔事務局〕

- ・校名の件については、次回の進め方について2案提案したい。一つは区で方針案を示すこと。二つ目は今回と同様にもう一度意見交換の場を設ける。〔事務局〕

→みんな意見がバラバラだからまとめた方が良い。

- ・意見を出す場としては今日で終わったので次に進んでもらっていいと思うし、区の家が自分の思っていることと違ってても意見を集約した結果だから文句はない。

- ・一つの案に絞るか複数案の提示になるか検討したい。次回提示のうへでご意見いただきたい。〔事務局〕

以上